



# 千葉労働動力

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)

電話 (鉄電) 千葉 2935・2936 番  
(公) 043 (222) 7207 番

92.7.24 No. 3532

## いすみ支部今後も団結を固めて 職場集会 闘い抜く!

七月一四日一六時から、いすみ支部職場集会が開催された。

冒頭、吉田支部長から、七月一〇日に開催された第二八回労働千葉臨時委員会と、いすみ支部として会社と踏切の一種自動化を中心に取り組んできた経過が報告された。

続いて、本部・布施副委員長から、当面する情勢と取り組みの方向性について提起を受け、質問、意見が出され討論が深められていった。

着実に前進した

五五才以降も闘い

いすみ鉄道は、国鉄「分割・民営化」の時に、国鉄・木原線の経営を引き継いで発足した第三セクターであり、社長以下四〇名の社員中、一〇名が労働千葉の組合員であるJR東日本からの出向社員である。

とりわけ、運転士一五名中一〇名が労働千葉いすみ支部組合員であるということから、この職場集会も、二名が仕事でどうしても出席できないという状況がある。

討論の中で、支部組合員全員が出向者であるという特殊な状況のなかで、五年間にわたる労働千葉組合員の団結を基礎とした取り組みが、安全問題をはじめとする労働条件改善を、着実に勝ち取っているということと、しかし、第三セクター全体をおおっている経営状態の悪化という現実が、複雑にからみ合っている状況が浮かび上がってくる。

共通する不安

出向期間の不安

職場集会は、途中から、アルコールを入れながらの懇談会に切り替えられ、延べ三時間余り、全参加者から忌憚のない意見が出された。

全組合員が比較的高齢者であるということと、出向者であるということから、

①、車両が軽量化されていることから、踏切事故について、極めて危険であると思っていること。

②、出向期間はどうなるのか？

③、動乗勤が改善された中で、JR東日本に戻って運転士として勤務することが出来るのか！

④、五五才以降も、このまま、いすみ鉄道へ出向ということでもいいのか？

等々ということが、多くの組合員から共通して出されている。

職場集会は、最後に、今後も団結を固めて闘っていくことを、全体で確認して終了した。

### 千葉労働交流センター第二回定期総会 7/19 派兵阻止へ闘いはこれから

千葉労働交流センターの第二回定期総会が、七月一九日午後一時から、船橋市・商工会議所大ホールに五〇名の労働者を結集して開催された。

総会は、国労の労働者の議長のもと、はじめに宅間代表運営委員(流山市職)の「PKO法案は成立したが、闘いはこれから。千葉に交流センターありと言われるように闘いをつくりだそう」とあいさつを受けた。

続いて来賓があいさつに立ち、中江昌夫船橋市議、三里塚空港反対同盟から伊藤信晴さん、部落解放同盟全国連合会・高橋共闘部長から、それぞれ闘いの報告と総決起する決意を受けた。

さらに、「PKO反対闘争と労働運動」と題して、中野委員長(全国交流センター代表委員)が記念講演を行った。

中野委員長は、今年前半のPKO闘争を振り返り、総括した上で、六月一五日のPKO協力法強行可決によって、歴史がいまひとつ大きく動いたこと。労働千

葉に対する反動判決や成田治安法合憲判決など、すでに戦争に向けた反動攻勢がはじまっていることを強調した上で、この秋の自衛隊派兵阻止の闘いに、労働者が総決起することを訴えた。

運営委員会よりの議案の提起ののち、自治体、教育、民間、未組織、それぞれの労働者から発言を受け、宅間代表の集約ののち、方針を決定した。

その後、新たな運営委員を選出した後、代表運営委員の田中書記長のまとめと閉会のあいさつで総会は終了した。

交流センター運動の強化・拡大を勝ちとろう！

- ☆ 参議院選選推推薦候補  
赤桐 操 (千葉選挙区)
- うちだまさととし (東京選挙区)
- やたべ 理 (茨城選挙区)
- 瀬谷英行 (埼玉選挙区)
- 比例代表制 社芸党  
全員の当選を！